

令和3年度 愛知県高等学校新人体育大会 柔道競技

- 日時 令和4年1月22日(土) 男子団体・女子個人
- 会場 愛知県武道館 第1競技場
- 主催 愛知県高等学校体育連盟
- 共催 愛知県教育委員会
- 後援 (一社)愛知県柔道連盟
- 大会役員
 - 会長 小林 整次
 - 顧問 河原 月夫 平野 等 加藤 博 河合 孝 松本 宣子
- 競技役員
 - 部長 野田 昌彦
 - 委員長 石田 輝也
 - 副委員長
杉原大一郎 松下 泰夫 羽生 裕司 伊東 朝樹 古居 義則 笹瀬 貴司
 - 委員
鈴木 壮太 片山 智一 覚田 高明 堀部 勝昭 内田 和之
水田 智之 和田 峰夫 野村 弘昭 市川 大訓 大瀧 徹士
金田 太輔 高橋 龍 青柳 崇嗣 是澤 佑 森 久就
小島 宏之 淵田 勇太 溝内 直剛 篠原 良司 野田 大介
山下 幸司 蜂須賀一郎 倉内 一樹 武田 和樹 坂野 陽一
田 鳶 之貴 長谷川真樹 三矢 健斗 若山 裕章 志満津智史
- 試合時間・方法
 - 男子団体戦 毎回オーダー変更可の点取り戦(試合時間3分)
 - 女子個人戦 3分(ゴールデンスコアは時間無制限)
- 柔道衣コントロール
 - 柔道衣コントロールは、団体戦・個人戦ともに初戦開始時に試合会場の審判団で実施する。
 - 全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。
 - ① 上衣・下穿

(ア) 外枠が赤色の IJF ラベルがついているもの

(イ) 赤色の IJF ラベルが ついていない場合

「JU0000」と赤字で表示された全柔連認証番号ラベルがついているもの

② 帯

(ア) IJF ラベルがついているもの外枠の色は赤・青どちらでも可

(イ) IJF ラベルがついていない場合

「JU0000」と表示された全柔連認証番号ラベルがついているもの 赤・黒どちらでも可

(3))柔道衣は白色のみを使用し、背部に規定のサイズのゼッケンが縫い付けてあること。

10. 試合会場

正面本部			
第 4 試合場	第 3 試合場	第 2 試合場	第 1 試合場
①天白 - 岡崎 ②豊川工科 - 誠信 ③①の勝者 - ②の勝者 ④③の勝者 - 愛産大三河 女子57kg級 1~10	①東海 - 同朋 ②安城農林 - 名古屋大谷 ③①の勝者 - ②の勝者 女子無差別	①津島北 - 半田工科 ②一色 - 名古屋工 ③①の勝者 - ②の勝者 女子63kg級	①愛産大工 - 岡崎工科 ②名古屋 - 岩倉総合 ③①の勝者 - ②の勝者 ④大成 - ③の勝者 女子48kg級 1~9
第 8 試合場	第 7 試合場	第 6 試合場	第 5 試合場
①高浜 - 愛西工科 ②半田東 - 春日井工科 ③①の勝者 - ②の勝者 ④③の勝者 - 桜丘 女子57kg級 11~20	①栄徳 - 豊橋工科 ②享栄 - 誉 ③①の勝者 - ②の勝者 女子52kg級 11~20	①知多翔洋 - 稲沢 ②刈谷工科 - 名城大附属 ③①の勝者 - ②の勝者 女子52kg級 1~10	①東郷 - 碧南 ②豊橋中央 - 一宮興道 ③①の勝者 - ②の勝者 ④星城 - ③勝者 女子48kg級 10~18

- 男子団体準々決勝および女子個人戦の準決勝からは、第 2,3,6,7 試合場を使用する。
- 試合進行の状況により、会場を変更する場合がある。(変更の場合は放送で連絡する)

11. 審判規定

国際柔道連盟試合審判規定および高体連申し合わせ事項による。

(1) 判定基準

男子団体戦 技有または僅差(指導差2)以上

代表戦はゴールデンスコア(GS)を適用する。GS の判定基準は個人戦に準じる。

女子個人戦 準々決勝までと 3 位決定戦では、技のスコアが同等の場合、指導の少ない方が勝者となる。指導差も無い場合は旗判定によって勝敗を決する。

準決勝および決勝では、技のスコアが同等の場合、指導差2で僅差勝となる。指導差1以下の場合には GS を行う。GS では先に技のスコアを得た方が勝者となる。ま

たは、指導が多くなった方が敗者となる。

(2) 主な反則事項

- 攻撃する側が少なくとも片方の組手を持たずにベアハグを施した場合は「指導」となる。
- 両者が立姿勢の状態で関節技や絞技を施した場合は「指導」となる。
- 相手の脚を過度に伸展させて関節技や絞技を施した場合は「指導」となる。
- 試合中に帯より外に上着の裾が出た場合、主審の「待て」から「始め」の間に試合者は自ら服装を直すこと。服装の乱れを放置したまま主審の「始め」を待っていて、主審から服装を直すように促された場合、2回目からは「指導」となる。
- 背中から着地することを防ぐため、故意に頭部を使用する動作(ヘッドディフェンス)は「反則負け」となる。

(3) 新たに追加される反則事項

- 攻防に関係の無い行為で、意図的に相手の柔道衣の裾部分を帯から出す行為→「指導」
通常の攻防の中で、偶発的に相手の服装を乱すことは対象とならない。
- 故意に相手の足を踏みつけて技を仕掛ける及び故意に相手の頭髪を掴んで技を仕掛ける行為
→「反則負け」
1回目は偶発的に起きうる可能性もあるので「待て」としてノースコア、ノーペナルティ。2回目は故意と判断し「反則負け」となる。

(4) ダイレクトの反則負けの場合

ダイレクトの反則負けとなった選手は、その後の一連の試合に出場できない。この場合、主審は本部に報告をすること。ただし、ヘッドディフェンスによる反則負けはこの限りではない。

(5) 呼び出しても選手が現れない場合

場内放送をかけて30秒を過ぎても試合場に現れない場合、「棄権負け」とする。両者が現れない場合は、両者棄権負けとする。

(6) 個人戦において試合が連続する場合

個人戦において、同一選手の試合が連続する場合は3分間のインターバルを設ける。

12. 監督・コーチの振る舞い・言動

監督・コーチは試合が止まっている間(主審の「待て」から「始め」の間)のみ、選手に指示を与えることができる。試合続行中は指示を与えることはできない。また、以下の行為も禁止する。

- 審判の判定に対し、コメント批判や、訂正を要求すること。
- 対戦相手、審判、役員および自分自身の選手を侮辱するような言動
- その他、柔道精神に反する行為

※ 違反した場合、1回目は口頭注意、改善されない場合は退場処分とする。

13. 入場制限

- (1) 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症対策のため、試合場(1階)に入場できるのは、選手、引率者(3名まで)、審判員、大会役員、補助員のみとする。選手以外の入場者は、受付時にIDカードを受け取り、会場内ではIDカードが見えるように携帯すること。試合に出場しない部員や大学・実業団の視

察員(各団体1名まで)は2階観覧席にて観戦すること。保護者の入場および観戦は不可とする。

(2) 大会当日、37.5℃以上ある者は会場へ入場できない。発熱が無い者でも、倦怠感、息苦しさ、咳、咽頭痛等の自覚症状のある者は会場へ入場できない。

(3) 会場に入場する者は、大会前2週間分の体調管理チェックシートを提出すること。チェックシートが提出できない者は入場不可とする。

14. 進行

時間	進行	備考
8:30~	開場・会場設営	役員および会場準備担当生徒(大成・名工・同朋・名城大附)のみで実施する。
9:00~	役員・審判員受付	会場入口の受付でチェックシート提出後、IDカードを受け取る。会場設営および計量の準備をする。
9:30~	選手・引率者入場	※会場準備の状況で遅れる場合もあり 男子は観覧席で更衣。女子は更衣室で更衣後、荷物を観覧席に移動させる。
9:30~10:00	受付	引率者は受付で参加費を納入する。男子団体参加校は、受付時に出場選手の体調管理チェックシートを提出すること。提出できない選手は失格となる。
9:40~10:10	女子選手計量 男子団体選手変更受付	1階試合場内計量スペースで実施。 計量時に体調管理チェックシートを提出すること。提出できない場合は失格となる。
10:10~	会場チーフ打ち合わせ	本部付近にて、審判長と会場チーフで打ち合わせ
10:20~	会場審判打ち合わせ 畳消毒	会場ごとに審判打ち合わせ モップによる畳消毒を実施
10:30~	男子団体 開始	女子選手は全員観覧席に移動する。 男子団体で敗退した学校の選手は観覧席に移動する。
12:00~(予定)	女子個人 開始	女子選手は1階試合場に移動する(放送で指示) 男子団体ベスト8進出校は1階試合場で待機 敗退した女子選手は2階観覧席に移動する。 女子ベスト4進出選手は1階試合場で待機する。
12:30~(予定)	男子団体準々決勝	男子団体で敗退した学校の選手は2階観覧席に移動する。
13:00~(予定)	男子団体 準決勝	

時間	進行	備考
13:30～	男子団体 決勝・3決	
	男子団体 第2代表決定戦	実施の必要が無い場合は行わない。
	女子個人 準決勝・3決・決勝	

15. その他

(1) 男子団体戦 第2代表校決定方法

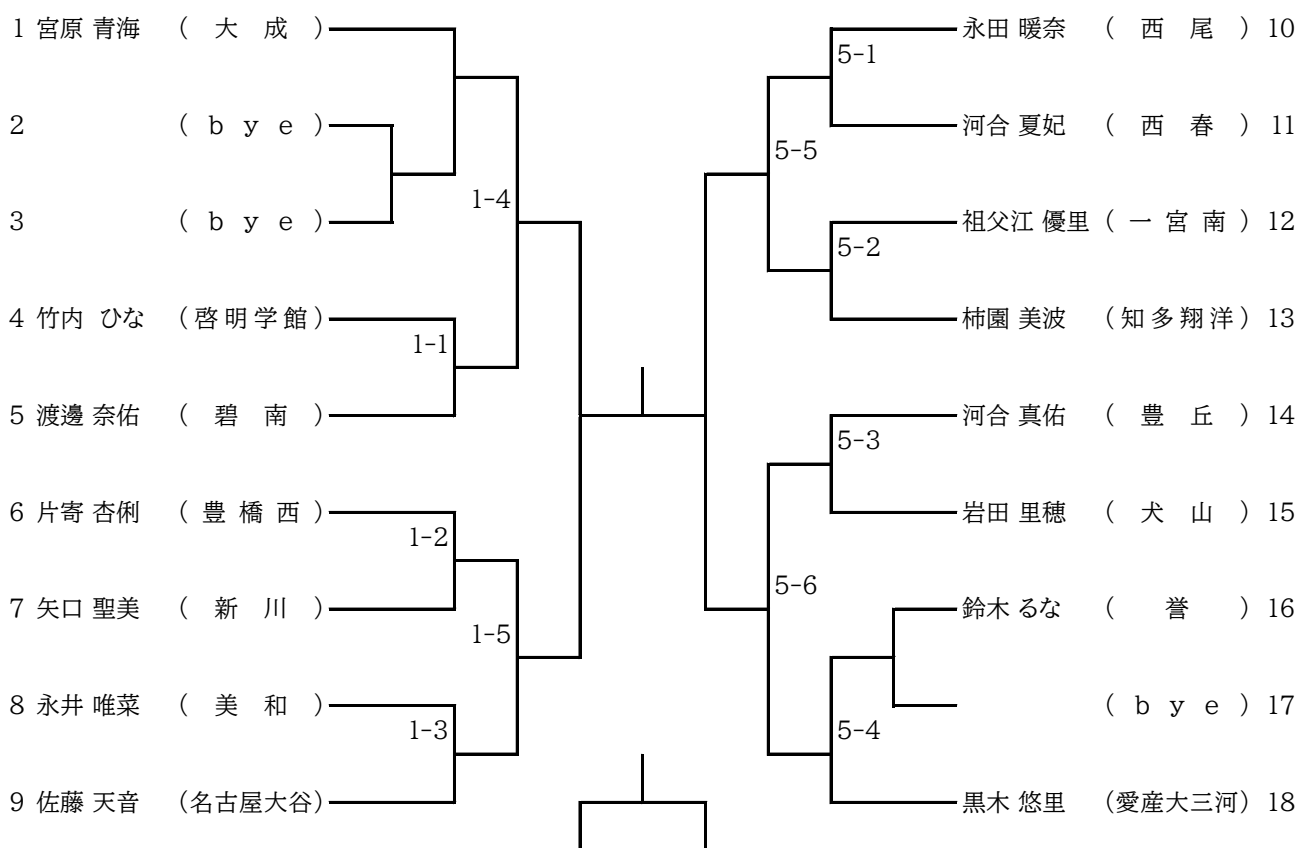
決勝で敗退した学校が、3位決定戦の勝者と準決勝で対戦している場合、決勝で敗退した学校を第2代表校とする。決勝で敗退した学校が、3位決定戦の勝者と準決勝で対戦していない場合は、その2校で第2代表決定戦を行い、その勝者を第2代表校とする。

(2) 第45回全国高等学校柔道選手権大会 女子個人戦の出場枠について【予告】

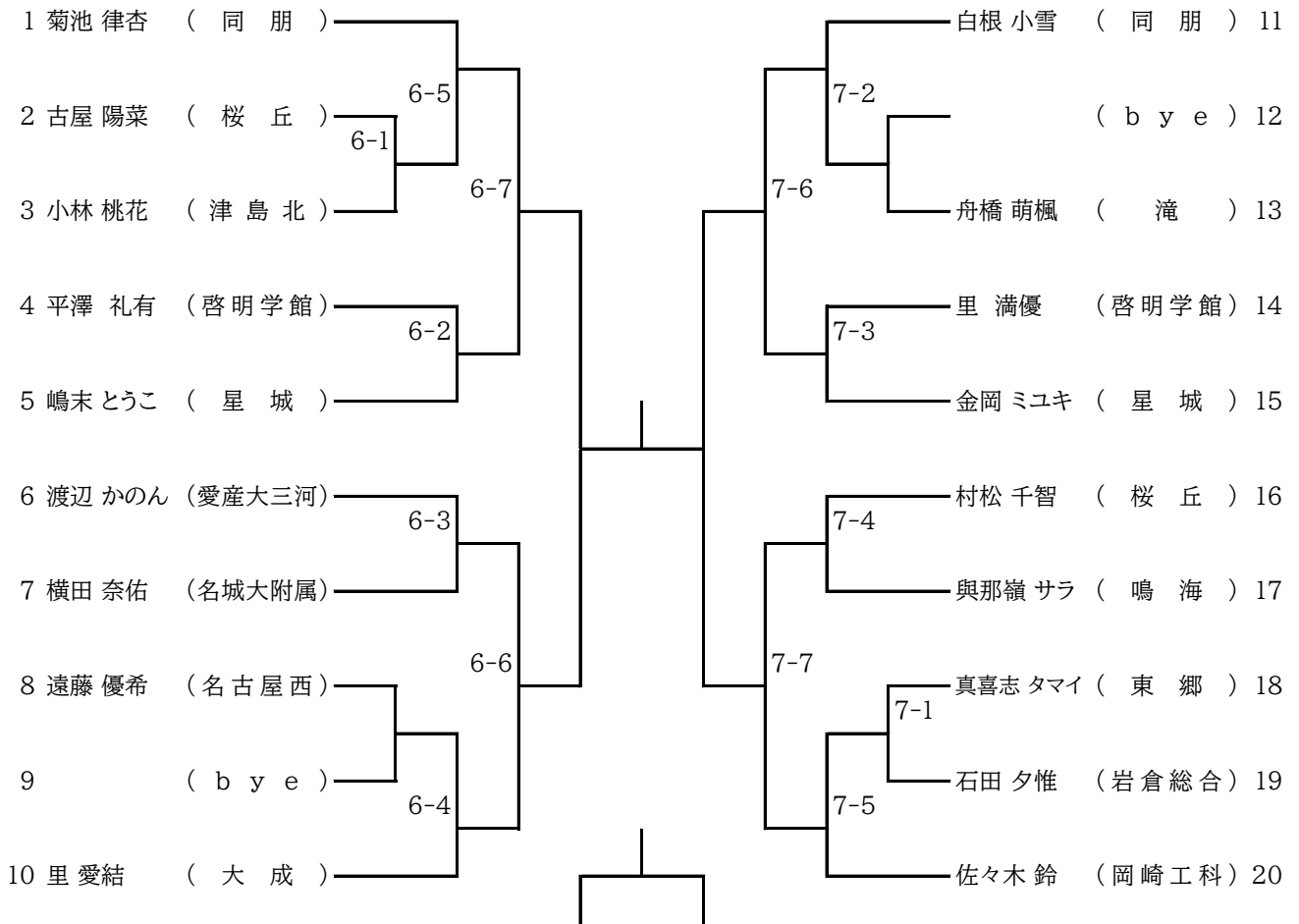
本大会の優勝者は、第44回全国高等学校柔道選手権大会に愛知県代表として出場する。この代表選手が第44回全国高等学校柔道選手権大会で優勝した場合、来年度の第45回大会において同階級の愛知県代表枠は2名となる。

また、第44回全国高等学校柔道選手権大会で優勝した本県代表選手が1年生であった場合、第45回大会の愛知県代表枠1名に、その選手を推薦するものとする。残り1名の代表枠を県予選で決定するものとする。ただし、該当選手が前年優勝時の階級から階級変更をした場合は推薦出場することはできず、他選手と同様に県予選から参加するものとする。

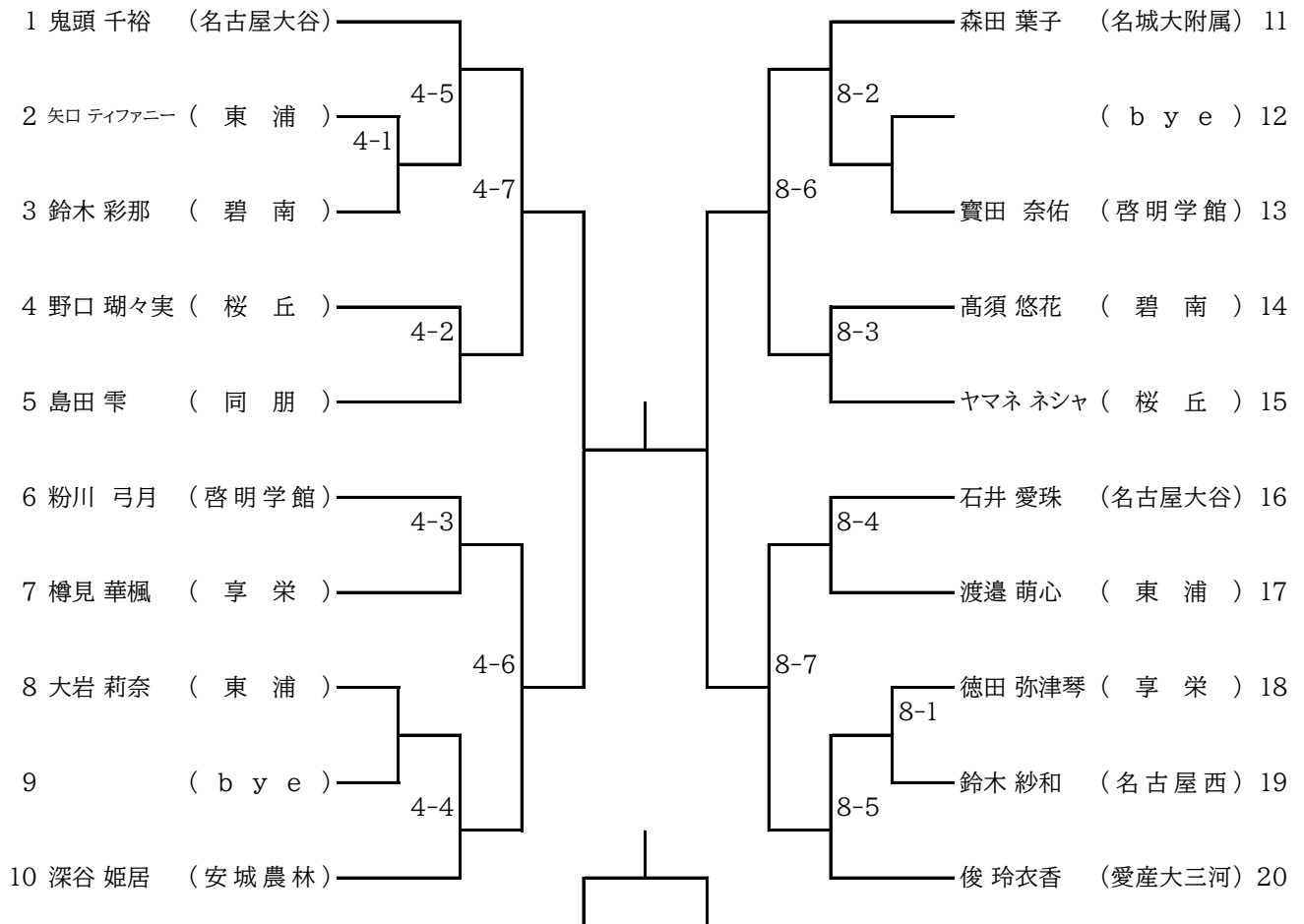
女子48kg級



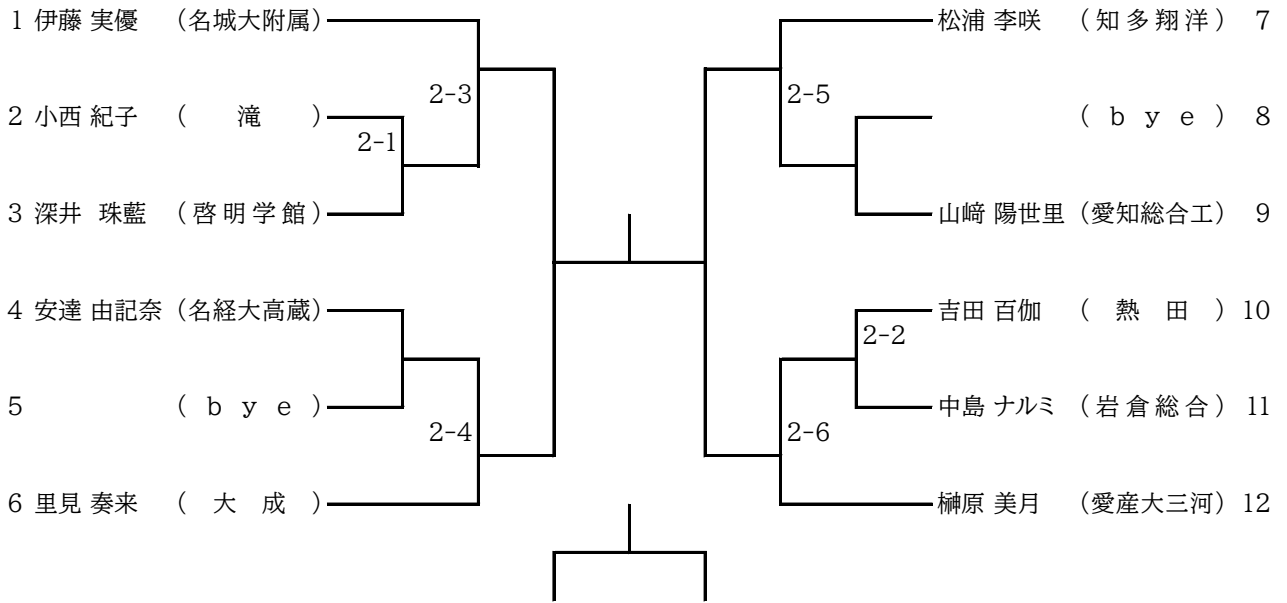
女子52kg級



女子57kg級



女子63kg級



女子無差別

